



## 今年度の研究テーマ

人権保育を踏まえた子どもを中心とした「共主体の保育」を実践する

～わくわくいきいきるんるんどきどき ふたばっこ～

日頃より、ふたば園の保育・教育にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

本園では「子どもの権利条約」や、こども家庭庁が推進している「初めの100か月（誕生前から7歳まで）の育ちビジョン」をもとに、一人ひとりの人権が守られ、子どものウェルビーイング（身体的、精神的、環境（社会）の面での幸せ）を高められるような保育を目指しています。その中で、乳幼児期の経験を通して、学びにつながる意欲や好奇心、探求心を育み、あきらめずにやり遂げる達成感を味わってほしいと思っています。

今年度も子どもが主体的にあそびを楽しめる体験活動に取り組んでいきます。学びにつながる芽は、いろいろなあそびを通して育まれます。子どもたちと、やりたいことや思いを「対話の時間」で話し合い、子どもの「やってみたい」ことを実現させるためのプロセスを大事に、活動を進めます。思い通りにいかないことや思わぬ方向に行くこともあるかもしれませんが、じゃあ次にどうしていくのかということも考え、話し合いながらあそびを発展させていきます。

その中で、大人の関わりはとても大切になります。「共主体」とは、子どもの主体性だけでなく、そこに大人（保育者）の主体性が入ります。見守りやサポートをするだけでなく、どんなことを感じてほしいのか、こんなことを経験してほしいということ「仕掛け」として、子どもたちに提案や提供をしていくことで、あそびを発展させるための環境作りを行っていきます。

子どもも大人も「わくわく・いきいき・るんるん・どきどき」できるように“わいるど”にあそびを楽しんでいきます。

ふたば園では、豊能町の自然の豊かさを感じられるように、これまでもさまざまな体験や活動を積み重ねてきました。今年度も幼児クラスを中心に、木代の山に入らせてもらい、「基地あそび」を、年間を通して楽しんだり、地域の方のご厚意でお借りしている畑で地域の方と一緒に菜園活動をしたりなど、地域での交流を通して生活やあそびの中で、「豊能町で育てよかった」「豊能町が大好き」と思えるような活動を続けていきたいと考えています。保護者の皆さまにも子どもたちが豊能町の自然や地域の人たちとどのように楽しんでいるのかをお知らせするために“ふたばっこだより”を発行していきます。お家でお子さんの話を聞きながら、おたよりを読んでくださいね。

園での取り組みや活動の様子をわかりやすくお伝えしていきたいと思いますので、保護者の皆様にも園での保育・教育に積極的に関わっていただけると幸いです。

ご意見や感想をいただきながら、子どもにとってよりよい保育を考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。